

独立・非同盟・平和・民主主義の国際秩序を目指す岐阜県の会機関誌

アジア・アフリカ・ラテンアメリカ 岐阜県地方版

発行日 2006年4月6日発行 通巻第5号 本誌4月号付録

発行所 〒504-0825 岐阜県各務原市蘇原柿沢町2-47 岐阜県アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会

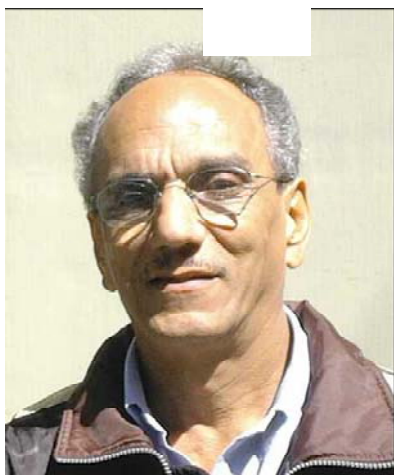
電話 090-8188-8849 FAX 058-389-6792 E-MAIL tcc00711@nifty.com 事務局 椋木

ベネズエラ代表団歓迎集会大盛況！



岐阜県AALAとベネズエラ代表団（左から椋木真佐子さん、天池洋介さん、瀬古由起子さん、椋木昭夫さん、八田ひろ子さん、フェリーペ・フィゲロアさん、ジョニ・ニーニョさん、土井みゆ子さん、阿部圭友さん、加納四郎さん、国安昌平さん）*瀬古さんと八田さんは日本共産党中央委員、元国会議員として飛び入り参加。

3月28日(火)愛知民主会館(名古屋市新栄町)において、ベネズエラ代表団歓迎愛知集会が開催され、愛知、岐阜、三重の三県より130名の参加者がベネズエラの仲間を迎えました。岐阜県 AALA は、昨年末より、ベネズエラ代表団歓迎愛知県実行委員会に加わり準備を進めてきましたが、当日は7名の参加で、ベネズエラ代表団の話に熱心に耳を傾け、第一部、第二部と2時間半にわたる充実した歓迎集会となりました。来日したメンバーは、若干の変更も りで、改めてご紹介



フェリーペ・ネリ・フィゲロア
Felipe Neri Figueroa

ベネズエラ国際連帯委員会(COSI)全国指導部員。現職は労働省に属する全国予防保健・労働安全庁に勤務する公務員で、労働者に対する教育を担当。カラス市の電気技師労働組合の元書記長(15年間)。ベネズエラ共産党中央委員、教育思想全国委員会のメンバー。
1948年1月14日生(58歳)



ジョニ・ラモン・ニーニョ・ビジャロエル
Yohni Ramon Niño Villarroel

ベネズエラ国際連帯委員会(COSI)全国指導部員。現職は全国中学教員組合ポルトガル県役員。30数年間中学校の教職、全国中学教員組合の幹部を歴

任し、昨年退職。過去に学生運動指導部。89~92年の3年間、ポルトガル県選出の国会議員(共産党所属)をつとめ、地区住民会の会長も経験。最近は、第5共和国運動の人たちに思想面の教育を頼まれ講師をしている。ベネズエラ共産党中央委員、教育問題担当。
1948年10月20日生(57歳)

歓迎会のようすは、以下、岐阜県 AALA から参加した天池洋介さんが、熱気あふれる記事を書いてくれましたので、原文のまま掲載いたします。

ベネズエラに見る 新しい民主主義

天池洋介

2006年3月28日、愛知県の民主会館にてベネズエラ訪日代表団を歓迎する会が開催されました。当日は突然の大雨で大変な思いをして会場にたどり着いたのですが、代表団のジョークも混じった、しかし未来への希望

の溢れた話に参加者は聞き入り、後半ではおいしい料理を楽しみました。連帯の熱気に溢れた会場で未来への展望と、連帯の重要性をひしひしと感じました。

最初に元教員で国会議員の経験もあるニーニョさんが、ベネズエラ革命の一般的な話をしました。まずは、名古屋に来て始めて桜を見た。福岡ではまだ咲いていなかったということを話し、会場を和ませました。そして桜の中に日本の春と変革のエネルギーを感じる、ベネズエラとラテンアメリカも今、まさに春を迎えている。その春はどう始まったかというように話を切り出しました。

かつてのラテンアメリカはヨーロッパの帝国、その後アメリカの多民族主義に支配されていた。同じように領土の収奪と女性干渉に苦しんでいました。そこに登場したのがポリーバルで、ラテンアメリカ諸国の結束によって列強からの防御を固ろうとしました。

今、ベネズエラはこのポリーバルの思想を発掘し、国内だけでなくラテンアメリカ全体の福祉を向上する事をめざしています。アメリカが押しつけてくる関税の撤廃や労働力の自由化などを跳ね返し、周辺国には石油を長期の信用で開発のために提供しています。そして、こ

の思想、政策の延長線上には公正をめざす社会主義があります。という話でした。ポリーバル思想というのは思想史ではどちらかと言えばマイナーな存在だが、そんなに重要なものなのか、随分と大きな発掘をしたものだなあと思いました。

次は元労働組合の活動家で今は労働省で労働者教育の仕事をしているフィゲロアさん。最初に美しい着物の同志に感謝と会場を沸かせました。そしてポリーバル思想とその政策について話をしてくれました。

ポリーバル思想はエリート思想ではなく、民衆の思想であり、そのままの資本主義ではなく持続可能な連帯的経済をめざしています。チャベス(大統領)はまず民主主義憲法を制定して、国民が主人公の参加型民主主義を導入しました。従来あった代議制民主主義は不正や貧困を助長してきたので、参加型で双方向型の民主主義で補完する必要がありました。参加型民主主義とは国民が政治に参加するための組織作りのことです。

ベネズエラはポリーバル思想に基づいた社会計画によって貧困を終わらせ、真に自由で公正な社会—社会主義—に向かって進んでいます。それらの社会計画には、飢餓から国民を守る「国民の

店計画」(安価で食料を販売)や先住民への差別や排除をなくす「見つめ直そう計画」などがあり、今、社会から排除されていた人々が社会に加わり、新しい現実、新しい思想、新しい文化を形成しつつあります、という話でした。ポリーバル思想ってすごい、それにポリーバル思想の延長線上に社会主義を位置づけるその理論的作業が、従来の常識では考えられない離れ業だと思いました。また、日本では一貫して擁護されている代議制民主主義の制度を真っ向から批判して、それを補完する制度まで作り上げていることに驚きました。日本ではすぐに「民主主義はありかなしか」という二者択一になってしまいがちですが、ベネズエラはちゃんと柔軟に解決しているようでした。

全体的に理論を大切にしている、そして原則を確立したらあとは柔軟に対応しているという印象を受けました。とても分かりやすくて親しみやすい社会計画のネーミングにもその姿勢が見て取れます。日本では「私は理論の人ではなく実践の人だ」と言っただけで理論学習をおろそかにする活動家が多くいますが、それは間違いだと確信しました。実践を伴わないものはただの仮説に過ぎません。理論とは実践を通じて析出す

るもの、実践を通じて発展していくものです。私も一哲学者として、ベネズエラの理論活動は大いに参考にしたいと思いました。

一通りお話が終わったあとで、懇親会。いすを片付けて、その場に料理が運び込まれてきました。てんぷらなどの日本料理とソーミンチャンプルのような沖縄料理でした。ビールも大量に振舞われ、折からの熱気もあり会場は一気にヒートアップしました。青年たちが代表の二人にいろいろと質問をしています。私も質問をしたいことがあったのでずっと待っていたのですが、ずっと話し込んでいたので質問できずにいました。そうこうするうちに各団体からのスピーチの時間が始まり、1人2、3分ずつスピーチが続き、10分くらいずつ話す間に質問ができません、困りました。

やっと長いスピーチが終わって質問。「セニョール、

フィゲロア」と呼ぶと、本人も分かったようでにこっとしてくれました。そしてこの地域にはラテンアメリカからの出稼ぎ労働者が多いが、どのようにしたら彼らと連帯できると思うか、と質問しました。フィゲロアさんは具体的な状況が分からないので何とも言えないが前置きしてから、若い人の組織が役割を果たすことと労働者に政治の重要性をはっきりさせること。その上でブラジル人が日本語をそして日本人がポルトガル語を話すことが双方の理解を深めるとのことでした。何よりも無知の状態が一番怖いと最後にアドバイスをくれました。

本当はもっとたくさん質問をしたかったのですが、司会者に後ろがつかえているから短めにと言われたので、社会計画のネーミングが率直で親しみやすいのがいいと思いました、と感想を言って終わりにしました。するとこれ

がポリーバルだよとベネズエラのコインをくれました。感激でした。ほんの少しかじったポルトガル語であいさつ程度はやりとりしたもの、彼らはスペイン語なのでやはり言っている言葉はほとんど分かりませんでした。通訳なしで話したい、語学って大切だとつくづく感じました。

その後は日本福祉大学の学生と話をしたり、彼らをフィゲロアさんのところに連れて行って一緒に写真を撮ってあげたりしました。彼らは1年生だと言うことです。まだ若いのに関心だなあと感じました。

そして会はフィナーレへ。みんなでラテンアメリカの「平原の魂」という歌を歌って、代表団と握手をしたり抱き合ったりしてボルテージが最高の状態で会は終わりました。これが連帯か、と強く印象に残った素晴らしい会合でした。



フィゲロアさんに質問をする天池さん
(撮影は国安さん)



平原の魂を歌う代表団と参加者
(撮影は天池さん)

ベネズエラ事前学習会

歓迎集会に先立つ3月11日（土）には、各務原市の産業文化会館にて、ベネズエラのボリバル革命とそれをクーデターや不信任投票で阻止しようとする反動勢力の真実の姿を報道したドキュメンタリーを2本視聴し、ベネズエラで進むボリバル革命とそれを力づくで妨害しようとするアメリカ追随勢力との攻防の歴史を学びました。

参加者のなかからは、「へたな映画を見るより、ずっとよかった。」との声も聞かれ、キューバやチリ、ニカラグア、ベネズエラとつづいてきたアメリカの干渉政策が、いかに理不尽で恐ろしい反民主的、謀略的であったかを、今回ベネズエラでテレビ局に撮影されたクーデターの生々しい事実を通じてリアルに知ることができました。視聴後には、

闘うラテンアメリカの人々と連帯したい気持ちがいっそう強まる内容でした。また、ドキュメンタリーの中には、チャベス大統領のすすめるボリバル革命の内容もいくつか紹介されていて、「政治が変われば、生活が変わる、人生が変わる」という事実も実感できる、元気の出る中身でした。

ベネズエラパンフ好評です

歓迎集会前の3月11日（土）及び3月27日（月）にベネズエラ する日本 AALA 作成 フレット（領布価格 円）の販売活動をし、取り寄せた30部中27部が完売いたしました。購入していただいたのは岐阜県 AALA 会員の他に、岐阜県

母親大会、日本共産党岐阜地区・県・西濃各委員会、岐阜県平和委員会、日中友好協会岐阜県連合会、岐阜県教職員組合、同岐阜支部、岐阜県労働組合総連合会の役員の方々です。革新的人々のベネズエラへの関心の深さがうかがえます。ありがとうございました。また、

歓迎会実行委員会へのカンパをよせていただいた会員の方々、日本共産党岐阜地区委員会の方々、ありがとうございました。よせられましたカンパは、さっそく、日本 AALA およびベネズエラ代表団歓迎愛知県実行委員会へ送金いたしました。

会費納入のお知らせ

4月は、会費納入月となります。添付の振込用紙で、個人会員は一口9,000円、団体会員は一口12,000円、読者は2,520円をお振り込み下さい。会費納入は原則1年分といたしますが、分納をご

希望の方は、納入月数を通信欄に明記の上、希望月数分をお振込下さい。残月分は、郵便局の振込用紙で、振込手数料はご自身の負担で納入願います。その場合も納入金の明細を通信欄に明示してください。

すでに4月以降の分を一部支払っている方は、その月の分を差し引いてお振り込み下さい。今回の振込は、平成19年3月分までをお願いします。新規入会の方は入会金が500円かかります。

支援物資・書籍販売のお知らせ

キューバ産ラム酒

アメリカの反動的経済封鎖に苦しむキューバ国民を支援し、今年9月の非同盟首脳会議のホスト国キューバと連帯するためのラム酒を販売します。



● **7年熟成** ストレートやオク、水割り、ホットラム、飲むこくと香りが自慢の最高級ラム酒。

1本 2,000円

● **5年熟成バラデロ** ストレート、オンザロック、水割り、ホットラムで飲むお値打ち価格のラム酒。

1本 1,700円

● **3年熟成バラデロ** まるやかでくせがなくカクテルベースにぴったり。

1本 1,400円

コーヒー

●マラゴジペ

ニカラグアの幻のコーヒーといわれた希少種。現在のものはコロンビア産。

中挽粉 200g 真空パック
1パック 1,000円

●クリスタルマウンテン

カリブきってのこくと香りにめぐまれた水晶の名にふさわしいくせのないキューバの豆。

中挽粉 200g 真空パック
1パック 1,100円

スリランカ産紅茶

スマトラ沖地震で大きな被害を受けたスリランカ経済を支援し、スリランカの人民との連帯を深める紅茶を販売します。

●ヌワラエリア産

甘く上品なヌワラエリアのディマル社の紅茶です。

ティーバック 100g
1箱 900円

缶入り茶葉 250g
1缶 1,800円

●ディンブラ産

バラに似た甘い香りと適度な苦みが絶妙なディンブラのメルスナ社の紅茶です。

ティーバック 100g
1箱 900円

学習用書籍

●いまこの世界をどう見るか 不破哲三著 新日本出版

長年、日本共産党のリーダーであった著者が人類史のスケールで現在の世界をどう見ているか近年の4つの論考を収録。

1冊 1,155円

●赤シャツのポリーバル革命が 進むベネズエラを訪問して

日本 AALA 編 みやぎ書房
2004年秋の日本 AALA ベネズエラ訪問団の友好と連帯の報告集。3月の歓迎行事参加者必読の書。ベネズエラの学習に最適。

1冊 600円

●非同盟運動

岡倉古志郎著 大月書店
。日本アジア・アフリカ・ラテンアメリカ連帯委員会代表委員だった筆者（故人）が、核廃絶と世界平和、公正な世界秩序、南北問題を提起する非同盟運動の歴史と展望を語る。

1冊 1,260円

※注文は電話又は FAX で、代金の支払いは、商品代金に送料実費を加えた郵便振替用紙を商品に同梱いたしますのでお近くの郵便局でお支払い下さい。

電話 090-8188-8849